

## 平成29年度 経営発達支援事業 評価委員会議事録

1. 開催日時 平成30年3月23日（金）午前11時

2. 開催場所 えりも町商工会館 2階研修室

3. 出席者

- |           |                   |         |
|-----------|-------------------|---------|
| (1) 外部有識者 | えりも町 産業振興課長       | 石川 慎也 様 |
|           | えりも町 産業振興課商工観光係長  | 中川 雅三 様 |
|           | 日高信用金庫えりも支店長      | 小田 竜司 様 |
|           | 北海道商工会連合会広域支援課 主査 | 大越 千尋 様 |
| (2) 内部委員  | 経営改善普及推進委員会 委員長   | 大坂 庄吉   |
|           | 経営改善普及推進委員会 委員    | 砂原 孝敏   |
|           | えりも町商工会青年部 部長     | 川崎 優慶   |
|           | えりも町商工会女性部 部長     | 坂田三枝子   |
| (3) 事務局   | えりも町商工会 事務局長      | 辻 一範    |
|           | えりも町商工会 経営指導員     | 河合 尚任   |

4. 内 容

定刻となり、事務局が開会を宣し、大坂委員長が開会挨拶を行った後、議事に入る。

### 経営発達支援計画に関する目標と実績、評価見直しについて

#### (1) 経営発達支援計画について

事務局は、平成29年3月17日に認定を受けた経営発達支援計画についてあらためて事業の概要説明を行った後、北海道商工会連合会 大越主査より補足説明をいただいた。

#### (2) 平成29年度事業報告について

事務局は資料の確認をした後、評価シートに基づき計画と実績について説明した。経営発達支援事業を実施した内容は以下のとおり。

#### ①地域の経済動向調査に関すること

取組1：地域の経済動向把握のため、既存データの情報収集並びに情報提供の実施  
目標：12 実績：0 評価：D

検証結果 経済動向については、日高信金・日本政策金融公庫等のレポートは毎月見ているが、情報の収集・分析・整理、情報提供を実施しなかった。情報の収集で終わるのではなく、分析・整理した情報を提供できるよう取り組む。

取組 2 : 地域内の企業動向アンケート調査を実施して結果の集計・分析し、タブレットを活用して情報発信する。

目標 : 1 2 実績 : 0 評価 : D

検証結果 企業動向調査は実施しなかった。

巡回訪問等により、企業動向を把握する機会があったと思う。

## ②経営状況の分析に関すること

取組 1 : 決算指導対象者の決算データのほかヒアリングによる情報収集を行い、財務分析並びに SWOT 分析を実施する。

目標 : 5 実績 : 2 5 評価 : A

検証結果 : 決算データにより「ローカルベンチマーク (経済産業省)」や独自のエクセルデータを活用して財務分析を実施したが、SWOT 分析までは至らなかった。

取組 2 : 分析した結果に基づき課題を明確にした経営改善提案を実施し、さらに専門家による個別相談等を活用して支援を実施する。

目標 : 2 5 実績 : 2 5 評価 : B

実施内容 : 平成 2 9 年 7 月 1 3 日 細田中小企業診断士 (日高信金専門家派遣同行)

平成 2 9 年 8 月 2 8 日 細田中小企業診断士

平成 2 9 年 9 月 1 3 日 前 義幸氏

平成 3 0 年 1 月 1 6 日 細田中小企業診断士 (日高信金専門家派遣同行)

検証結果 : 分析した結果をもとに、巡回訪問により提案を行った。

専門家による個別相談を 4 件実施し、経営内容の見直しを図るきっかけとなる支援につながった。

取組 3 : 経営セミナーを開催し、基本的分析のスキルを習得する。

目標 : 1 実績 : 0 評価 : D

検証結果 : 経営セミナーを開催しなかった。

## ③事業計画策定支援に関すること

取組 1 : 経営の成長持続的発展を目指そうとする小規模事業者の掘り起しを行い、事業計画策定支援を実施する。

目標 : 2 0 実績 : 4 評価 : D

検証結果 : 事業計画策定を希望する事業者が少なかったため、目標件数を達成できなかった。

取組 2：専門家を招聘し、事業計画策定等に関する講習会・個別相談会を開催する。

目標：1 実績：1 評価：A

実施内容：平成 29 年 7 月 27 日 おおもと経営オフィス 大本 佳典 氏

「もっと儲かるための！事業計画の策定」

検証結果：専門家を招聘して講習会を開催したことにより、事業計画策定のあり方について学ぶことができた。

取組 3：経営分析を実施した事業者の課題解決に向けて、専門家と連携して効果的な計画策定支援を実施する。

目標：5 実績：4 評価：B

検証結果：経営分析の専門家による個別相談と重複した。

取組 4：創業者・第二創業希望者の掘り起しを行い、創業計画書の実行支援を実施する。

目標：1 実績：1 評価：A

検証結果：創業計画書作成支援、金融支援を行い（支援件数 1 件）開業に至った。

#### ④事業計画策定後の実施支援に関すること

取組 1：事業計画策定者への事業計画の進捗状況の確認、売上・利益確保の目標達成に向けた定期的な巡回訪問によるフォローアップを行う。

目標：20 実績：12 評価：C

検証結果：事業計画策定を希望する事業者が少なかったため、目標件数を達成できなかった。

取組 2：金融支援者に対する、融資活用後のフォローアップを定期的実施して調達した資金が効果的かつ正当に活用されているか検証する。

補助金支援者に対する、補助金活用後のフォローアップを定期的実施して調達した補助金が効果的かつ正当に活用されているか検証する。

目標：支援件数×6 実績：6 評価：C

検証結果：金融支援者や補助金申請者に対するフォローアップを定期的実施できず、目標件数を達成できなかった。

取組 3：創業者・第二創業希望者へのフォローアップは最低 2 ヶ月に 1 度の巡回訪問により P D C A を実施し、安定した経営が図れるよう支援する。

目標：6 実績：3 評価：C

検証結果：創業計画書作成支援、金融支援を行い（支援件数 1 件）開業に至ったが、開業後のフォローアップ回数が少なく、目標件数までは至らなかった

## ⑤需要動向調査に関すること

取組1：地域資源を活用した商品を保有（開発）し、商談会・展示会に出展しようとする事業者に対してヒアリング調査を実施する。

目標：1 実績：0 評価：D

検証結果：実施しなかった。

取組2：上記1で実施したヒアリング調査の結果をレポートとして提供しフィードバックの支援を行う

目標：2 実績：0 評価：D

検証結果：実施しなかった。

取組3：各種機関より公表されている需要動向情報の収集を充実し「個別商品の売れ筋」等の需要動向や「業界の市場動向」等を分析・把握する。

目標：4 実績：1 評価：D

検証結果：RESAS（地域経済分析システム）や日経テレコンPOS情報のデータの収集のみの対応で終わり、情報提供までは至らなかった。

取組4：上記3により収集した情報を売上向上に向けた経営戦略構築や市場動向を先読みした事業戦略の立案に寄与する有用な資料として成果物を提供する。

目標：5 実績：0 評価：D

検証結果：成果物の提供まで至らなかった。

取組5：地域住民ニーズを把握、地域外へ流出している潜在的な顧客層との需給ギャップを解消するための調査を行い、レポートを事業者へ提供する

目標：10 実績：150 評価：A

検証結果：町内の300世帯を対象に「お買い物アンケート調査」を実施し、290件の回答があった。簡単な集計・分析を行った。町内外での食料品購入、食料品以外の購買動向について調査し、町内での買い物について消費者がどう感じているか把握することができた。今後の事業計画策定の参考となるデータを収集することができた。集計結果報告書作成して全会員へ提供した。（150事業所）

## ⑥新たな需要の開拓に寄与する事業に関すること

取組1：商品開発した事業者を対象として現状の経営分析結果に基づき、展示会・商談会の出展、準備・事務手続・事後フォローまでの支援を行う。

目標：2 実績：0 評価：D

検証結果：予算措置ができなかったため、商談会・展示会へ出展を希望する事業所がなく、実施しなかった。

取組 2：上記 1 により展示会・商談会に出展し、小規模事業者とともに商談成立を目指す。

目標：1 実績：0 評価：D

検証結果：予算措置ができなかったため、商談会・展示会へ出展を希望する事業所がなく、実施しなかった。

取組 3：インフォメーションツール（SHIFT）等の IT を活用した新たな需要開拓に向けた支援を行う。

目標：5 実績：0 評価：D

検証結果：実施しなかった。巡回訪問等により希望者の掘り起こしを行い、目標達成できよう取り組む。

取組 4：全国連等が運営するアンテナショップの活用による道外や都市部からの需要開拓に向けた支援を行う。

目標：2 実績：0 評価：D

検証結果：実施しなかった。巡回訪問等により希望者の掘り起こしを行い、目標達成できよう取り組む。

取組 5：ふるさと納税制度等の施策の活用による販路開拓支援を行う。

目標：5 実績：0 評価：D

検証結果：実施しなかった。巡回訪問等により希望者の掘り起こしを行い、目標達成できよう取り組む。

#### ⑦地域経済の活性化に資する取組

取組 1：商店街協同組合・地域住民や関係機関と連携し協議を重ね、地域づくりに取り組む。

目標：2 実績：0 評価：D

検証結果：実施しなかった。

取組 2：プレミアム商品券の発行により、消費喚起と消費購買力の向上による地域経済活力の増進を図る。

目標：1 実績：1 評価：A

検証結果：8月にプレミアム率 20%の商品券を 5,000 セット販売し、地域における個人消費を喚起し、消費者の生活支援と消費購買力の向上を図ることができた。販売時に簡単なアンケート調査も実施して、消費者のプレミアム商品券に対する意見等を把握することができた。

取組3：スタンプ会と連携して、地域スタンプ事業の充実と強化を図り、より一層の  
魅力向上に取り組む

目標：1 実績：1 評価：A

検証結果：商工会で事務委託を受け、スタンプ事業の充実を図ることができた。

取組4：イベント主催者や観光協会・料飲店組合との連携をより一層強化（会議等の  
開催）して、需要開拓を含めた地域経済活性化に取り組む

目標：4 実績：0 評価：D

検証結果：実施しなかった

取組5：豊富な地域資源を有効活用して、小規模事業者と行政・漁業者及び関係機関・  
専門家と連携しながら地域ブランド確立に向けて計画的に取り組む。

目標：3 実績：0 評価：D

検証結果：実施しなかった

#### ⑧他の支援機関との連携を通じた支援ノウハウ等の情報発信に関すること

取組1：【町・産業団体との情報交換】小規模事業者対策に向けた検討の場として、  
町及び産業団体と情報を共有する

目標：3 実績：0 評価：D

検証結果：実施しなかった

取組2：【広域連携経営支援会議】支援ノウハウや支援状況や事例について情報交換を  
行い職員のレベルアップを図る。

目標：3 実績：1 評価：C

検証結果：広域連携協議会による支援会議を開催し、支援事例や金融状況等の情報交換  
を行い、職員のレベルアップを図ることができた。

取組3：【広域による連携・情報交換】観光・地域振興など地域の経済活性化や小規模事  
業者が抱える課題等についての情報交換

目標：2 実績：2 評価：A

検証結果：日高東部・十勝南部広域連携協議会に事務局長が参加し、情報交換を行った。

取組4：【金融機関との情報交換】小規模事業者の経営状況や金融支援策について情報交  
換を行い、金融支援の連携を図る

目標：4 実績：4 評価：A

検証結果：経済状況や金融状況、個別案件に係る情報交換を行い金融支援の円滑化が図  
れた。

取組5：【専門家との連携・情報交換】 専門家と連携を図り、小規模事業者に対する  
アドバイスを身近に体感して支援力向上を図る

目標：2 実績：4 評価：A

検証結果：専門家派遣に経営指導員が同行し、身近に専門的なアドバイスや提案の手法  
について体感し、専門家との情報交換を行った。

取組6：【よろず支援拠点との連携】 サブコーディネーターと連携を図り、支援事例や現  
状及び結果など情報交換を行う

目標：1 実績：0 評価：D

検証結果：よろず支援拠点との情報交換を行うことができなかった。

### ⑨経営指導員等の資質向上に関すること

取組1：研修会等へ参加し、支援ノウハウの習得に努める。

目標：随時 実績：随時 評価：A、C

検証結果：各職員各々が北海道商工会連合会、中小企業大学校等の研修を予定通り受講  
し資質向上・支援ノウハウの習得を図れたが、経営発達支援を全職員で実施  
するまでには至らなかった。

取組2：職場内研修、情報共有の組織的な取り組み

目標：随時 実績：随時 評価：D

検証結果：職員会議を開催し、研修受講報告や経営指導員による経営分析結果報告等の  
報告を実施することができなかったことや「報告・連絡・相談」を組織全体と  
して取り組むまでに至っていない。

### ⑩事業の評価及び見直しに関すること

取組1：事業評価委員会の開催

目標：年4回 実績：年1回 評価：D

検証結果：これまでは事務局対応で評価されることがなかったが、外部有識者からの  
評価を受けることができた。今後は目標である年4回の実施に向け取り組む。

### (3) 事業の評価・見直し結果の内容について

外部有識者からの意見は下記のとおり

(石川委員) 今後は、経営セミナーを積極的に開催していただき、町職員への参加案内  
をいただきたい。町職員のスキルアップにも繋げることができると思うの  
で連携して事業推進していきたいと思う。

(小田委員) 経営分析について資料を作成しているようですが、信金も同じような視点  
から資料を作成しています。とても大変な作業なのは承知しています。  
ただ、分析資料を作成して終わりではなく「これからどうするの」経営者

自身がどのように行動するかが重要です。

経営者意識の持ち方を商工会の支援により改革してもらいたい。

(大越委員) 小規模事業者持続化補助金の申請の際にも事業計画が必要となります。

経営計画策定の際に簡単に作成できるアプリ「経営計画つくるくん」等を有効活用して申請書作成に役立ててください。

(砂原委員) 職員の方が大変苦勞して事業を実施されたと思います。今年度の評価は低めとなったことは残念ですが5年計画でもあり、これから年々評価を上げていくことを期待します。

その他、事務局は意見を求めたが特に発言はなく、評価委員会を閉会した。

午前11時50分であった。